

■テーマ展

びっくりサバイバル術 じゆつ ～身を守る生き物たち～ み

会期 平成20年 7月26日(土)～ 8月31日(日) 会場 特別展示室
休館日：月曜日（右の臨時開館日を除く） 臨時開館日：8月11日(月)

怪物がおそってきた！君ならどうする？
敵に食べられないために、けものや虫、木や草は
それぞれのやり方で身を守っています。
驚きのサバイバル術、進化のなぞを体験しよう！

身を守る方法、君ならどれ？

1 にげる

敵にあつたら、いちもくさん！まずは逃げよう。動物たちのいろんな逃げ方を紹介します。一番速いのはだれかな？



オオコノハムシ

2 かくれる

敵から身を隠すのが上手な生き物たちがたくさんいます。ノウサギ、コノハムシ、ナナフシの仲間、モクスガニ、タツノオトシゴ・・・君は、隠れている生き物たちを全部探し出せるかな。



マエモンフクロウチョウ（うら）

生物は、外敵に対してさまざまな防御手段をもっています。それらは、食う者と食われる者の関係の中から、長い年月をかけて進化したものです。

この展覧会では、自然界に見られる驚くべき生き残り術の数々を、約100点の標本や写真・映像によって紹介します。また、さまざまな体験を通じて、子どもたちに生き物の面白さと不思議さを伝えます。



3 おどかさ

チョウやガには、翅に大きくて丸い目玉のような模様をもつものがあります。熱帯にすむフクロウチョウ、日本のクジャクチョウや大きな蛾のクスサンなどです。この模様には、鳥を近づけない効果があります。

ヒトリガは、翅を閉じると目立たない色をしています。広げると赤や黄色の派手な色が現れます。これらの色も、敵を驚かさず効果があると言われています。

4 まずくなる

カメムシやゴミムシなど、くさいにおいや毒のある生き物は、やはり敵に食べられにくいようです。一度うっかりまずいものを食べた鳥は、それに似た餌を避けるようになります。

メスアカムラサキという蝶は、毒を持っていませんが、毒のあるカバマダラにそっくりなので、鳥に食べられにくいと考えられています。



イガグリガイ

5 よろいをつける

近づく敵を鋭い棘や針で防ぐ生き物たちがいます。ハリモグラやヤマアラシは、体中に鋭い針のような毛が生えています。海にも、貝やウニ、その名も「針千本」という魚など、トゲトゲの生き物がいっぱいいます。

武士が着るよろいのように硬いこうらや殻をかぶっている生き物もいます。アルマジロは、全身がうろこのような硬い皮膚でおおわれ、襲われると丸くなって攻撃を防ぎます。アオイガイは貝のように見えますが、実はタコの仲間が作ったから殻です。アオイガイのメスはこれで卵を守っています。



アオイガイ



オオイタドリの蜜腺にあつまるアリ

6 助けをかりる

身を守るのに他の生き物の助けを借りることもあります。オオイタドリやカラスノエンドウなどの植物は、茎や葉のつけ根にある蜜腺から甘い蜜を出して、アリの呼び寄せます。アリは、葉を食べる虫を追い払ってくれるのです。

魚のクマノミは、イソギンチャクの中に隠れて身を守ります。イソギンチャクは毒の針を持っていて、敵が近づきにくいからです。キンチャクガニというカニは、いつも両方のハサミにイソギンチャクを挟んでいて、敵が来るとそれを振り回しておどします。

ほかにもまだまだあるよ！

展示会では、この他にももっとたくさん
の標本と映像で、面白い生き物の形や
不思議な行動を見ることができます。クイズに挑戦したり、さわったり作ったり
の体験コーナーもいっぱいです。夏休み
になったら、みんなで遊びに来て下さいね！

(専門学芸員 鈴木まほろ)

関連事業

(1) 展示解説会 学芸員が解説します。 特別展示室 要入館料

① 7月26日(土) ② 8月16日(土) 14:00~15:00

(2) 日曜講座 教室 聴講無料

① 「岩手のクワガタムシ事情 昆虫採集入門」

7月27日(日) 13:30~15:00 中村学 (当館学芸員)

② 「葉っぱの不思議をのぞいてみよう！～昆虫とたたかう植物の謎にせまる～」

8月10日(日) 13:30~15:00 松木佐和子氏 (岩手大学農学部講師)

(3) 生き物なんでも相談室

2階サービスコーナー 要入館料

8月11日(月)

10:00~12:00、13:00~15:00

生き物についての質問にお答えします。

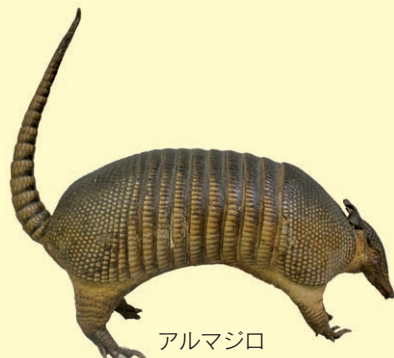
(4) 第55回自然観察会 要事前申込

8月3日(日)

湿地や水辺の昆虫・植物の観察

場所：西和賀町 講師：片山千賀志氏

くわしくはお問い合わせ下さい。



アルマジロ